

「就職活動にあたって求人票を見るポイント」

早川浩生

公益社団法人日本歯科技工士会では就職活動の手助けのためのパンフレット「就活中のみなさん 労働条件は確認しあわなければなりません！ ～就職後にトラブルが起きないために～」を発行しています。

就職して勤務者となるにあたって、労使関係を結ぶためのバックボーンとなる様々な法律があります。みなさんは「労働法」という言葉を聞いたことがありますか。そういう名前の法律があるわけではありません。労働基準法や労働契約法をはじめ労働安全衛生法、最低賃金法、労働時間等の設定の改善に関する特別措置法等、働くことに関するたくさん法律をひとまとめにして「労働法」と呼んでいます。

これからの歯科技工士となって社会の役に立とうと考えているみなさんが、安心して就職先を選び、順当で適正な労働契約を結んでいただくためのポイントをお話ししたいと思います。

また、2019年4月より「働き方改革関連法案(正式名称：働き方改革を推進するための関連法律の整備に関する法律案)」が順次適用されます。雇用する側の経営者にとりましても求人活動の参考になるお話しができればと思います。

「補綴物を活かすための咬合器操作法」

久野富雄

歯科技工士は、職場によって違いがあるが先輩がいない職場に就職した人たちは、相談する人がいなく孤独な仕事が続くこととなる。この様な人たちは特に歯科技工士会を利用していただき、あらゆる相談、サークルに利用していただきたいと思います。

歯科技工の仕事を行っていく上で欠かすことのできないものが咬合器の取り扱いだろーと思います。技工作業を行う上で咬合器を使用しなくても行える作業は殆どといってよいほどない。そこでこの咬合器を正しく理解し、正しく使用しなければ製作する補綴物の咬合機能が変わってしまう。このことからそれぞれの咬合器をよく理解しておき、できる限り咬合器の欠点を知った上で製作に取り組む必要がある。

そこで今回、最も多く使用されていると思われる平均値咬合器を中心に咬合器の欠点を理解し、より生体の動きに近く運動させることを理解していただくよう、お話しさせていただきたいと思います。